

広川町 議会だより



みんなで学習、快適です

(役場2階、学習スペース)



Contents

- ◆懇談会の意見の対応は…………… P2～
- ◆臨時議会・定例会…………… P6
- ◆公立病院・消防組合…………… P7
- ◆一般質問 7名の議員が町政を問う… P8～



町議会 HP
QRコード



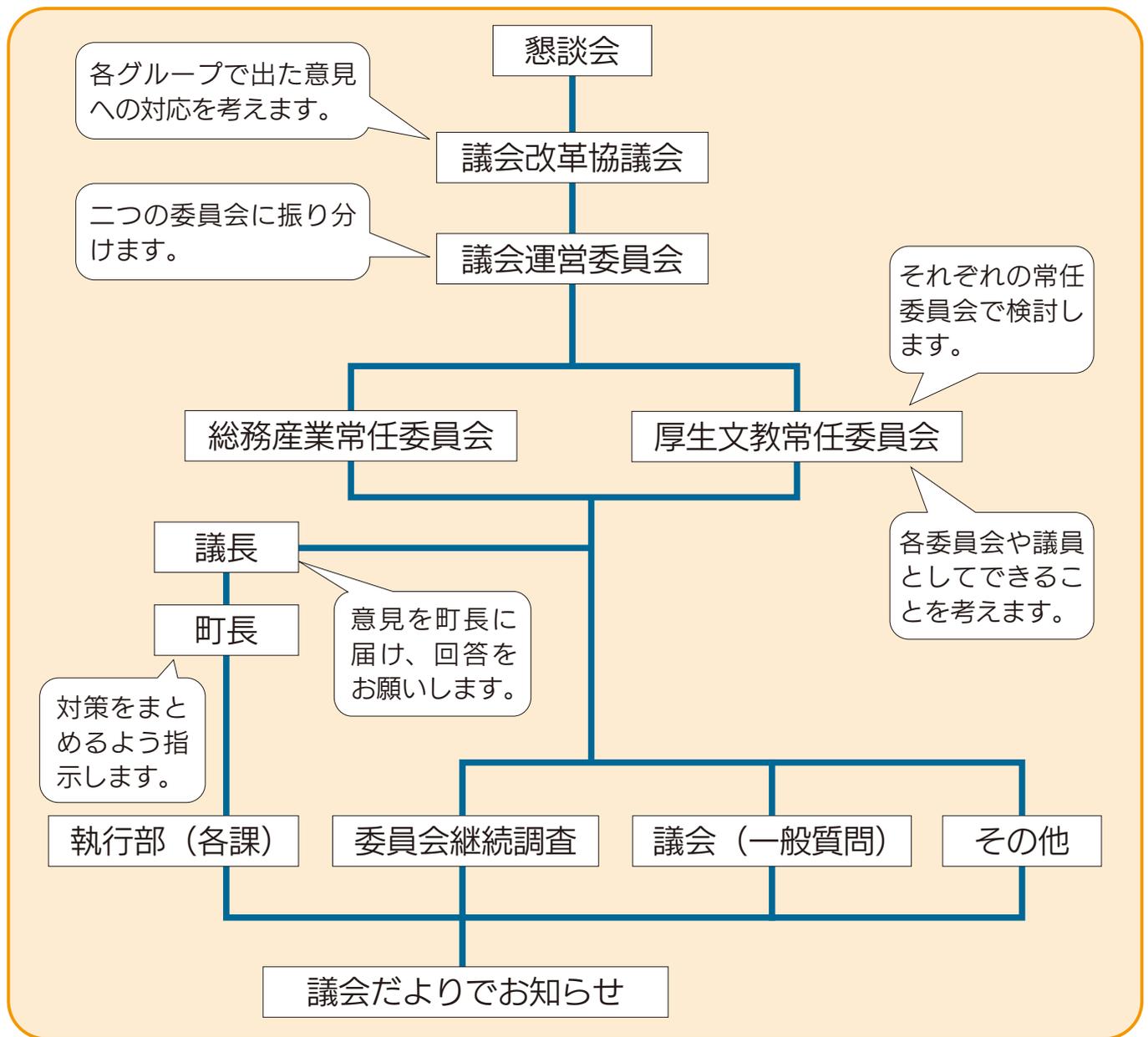
懇談会の意見を町政・議会活動に活かします

去る3月28日に行いました「区長会との懇談」でお聞きした意見を、議会改革協議会・議会運営委員会で整理し、今後の議会活動、町政に活かしていくよう確認しました。(図参照)

各常任委員会では、協議し、現状や対策などについて、聞き取りを行っています。また、調査・研究していく課題についても整理しました。(P4・P5 参照)

懇談会での意見対応の流れ

懇談会で出たご意見はこのような流れで対応します。



懇談希望団体を募集します

広川町議会は、「開かれた議会」に向け、いろいろな団体のご意見をお聞きしたいと考えています。ご希望の団体は、議会事務局まで、ご連絡ください。

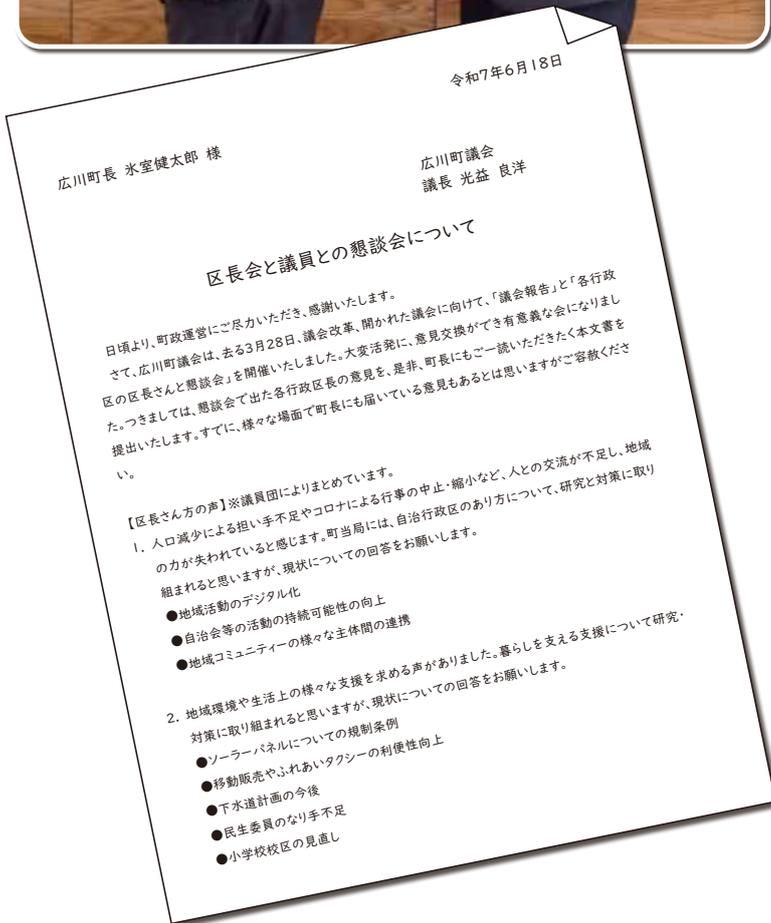
議会事務局 ☎ 0943-32-0109

懇談会の意見を 町長に提出しました



「区長会との懇談」で出された意見を、6月18日に町長へ提出しました。

各々の意見に対する現状や対策についての回答は、P4～P5に掲載しています。



申し入れの内容は？

- 地域活動のデジタル化
- 自治会等の活動の持続可能性の向上
- 地域コミュニティ間の連携
- ソーラーパネルについての規制条例
- 移動販売やふれあいタクシーの利便性向上
- 下水道計画の今後
- 民生委員のなり手不足
- 小学校校区の見直し

総務産業常任委員会

各担当課に現状と対策をききました

◎高齢化等により、道路愛護作業等の負担が重くなっている。

▲行政区によって作業範囲や機械等の取り扱いでの差を含め課題として認識している。無理をせずできる範囲での活動をお願いしたい。

◎行政区に加入しない人が増えている。

▲行政区加入のメリットについてチラシを作成し、転居者には加入推進を行っている。

◎消防団員のなり手が見つからない。

▲地域の安全と安心のための消防団員のなり手不足は認識している。対策を講じていく。

◎町民のLINEの利用状況は。

▲広川町では公式LINEを活用し、防災情報や緊急のお知らせなどを行っている。町としてはさらに多くの人に発信できるように検討していく。

◎地域コミュニティ推進事業に伴う地区担当職員の活性化は。

▲再度地区担当職員の目的・役割を周知徹底する。

◎避難場所指定の公民館が水害の危機となった。今後の対応は。

▲地区の自主避難場所については、自然災害の種類によっては、避難する事が危険な場合もあるため、町指定避難場所への避難をお願いしている。

◎区の運営費も厳しくなっている。

▲人口減少やかたよりが進む中、将来を見据えた自治会行政区の在り方について、研究・協議を進めている。

◎土木工事の採択・不採択の通知の仕方について。

▲前年度要望があった件について、毎年4月に採択、不採択を通知している。また、要件を満たさず不採択のものは理由も添えている。通知書に記載しているように、引き続きの要望が必要な場合は次年度、要望をお願いしたい。

◎水害時サイレンが鳴らなかった（聞こえなかった）。

▲2年前の教訓を生かし現在はダム放流の2時間前に周知し、1時間前に警報局（町内4か所）から放送し、放流時にサイレンを鳴らしている。



一応警報局

委員会継続調査

- デジタル化を進めるにあたり、より効率的・効果的方法を継続調査する。
- 自治会活動の持続化に向けあらゆる角度から研究・協議を進めていく。
- 地域コミュニティ間の連携をすすめる。
- 職員の資質向上をはかる。

厚生文教常任委員会

各担当課に現状と対策をききました

◎ 小学校を自由に選択したり校区を見直したりは出来ないか。

▲ 上広川小学校を小規模特認校として、通学区域の弾力化により中広川校区や下広川校区からも申請により通学できる。小学校区の見直しは統廃合の予定もなく、通学距離などにも課題があるため、現在は検討していない。

◎ 民生・児童委員のなり手がいない。現状はどうか。

▲ 現状としては、民生・児童委員は3年の任期で、12月に一斉改選が行われている。現在、広川町では民生・児童委員定数39に対して39、主任児童委員定数3に対して1の委員が厚生労働大臣から委嘱されている。

◎ 移動販売やふれあいタクシーについて、もっと利用しやすくできないか。

▲ 移動販売は、6月末現在、25行政区、33カ所で実施している。曜日や場所、時間などはホームページに記載しているので、確認してご利用頂きたい。

ふれあいタクシーは、昨年度から、利用料金を減額した。早めに予約して利用して欲しい。

◎ ゴミ置き場の設置基準はどのようになっているのか。

▲ 可燃物集積場の設置基準は、だいたい15世帯以上としているが、特別な事情がある場合は相談して欲しい。

◎ ソーラーパネルが増えているが町に規制基準はあるのか。

▲ ソーラーパネル設置に関する町としての規制基準は特にない。

◎ 下水道整備計画は、計画区域と計画外区域の不公平感がある。

▲ 地形や財政状況、人口推移などを総合的に考慮し計画している。不公平感については重要な課題と認識している。合併浄化槽の設置補助額については、本年度上乘せをした。

委員会継続調査

ソーラーパネルの規制基準は特にないと回答だった。広川町の現状と対策について調査研究していく。



令和7年

第2回臨時会・第2回定例会

5月19日第2回臨時議会を、また6月4日から11日まで第2回定例会を開きました。提案された議案は賛否表の通りです。

避難所の充実に向けて（一般会計補正第1号）

国の交付金（新しい地方経済・生活環境創生交付金426万円）を活用し、地域防災緊急整備を行います。（国の補助率 1/2）

整備内容は 総額 約850万円

- ① ふれあいタクシーの車両 買い換え
- ② 簡易ベッド 120台
- ③ 1人用テント式パーテーション 1000台
- ④ ガス発電機 1台

一人用パーテーションの登場！ 避難所のスペース改善に！ 避難所でもプライバシーを守ります。コンパクト収納可能！



一人用テント式パーテーション

各議案の賛否は

（○賛成 ●反対）
議長は採決に加わりません。

各議案の賛否は		下田めぐみ	辻満晴	藤島玄稔	梶原一美	竹下英治	山下茂	丸山幸弘	栗原福裕	江藤美代子	水落龍彦	池尻浩一	野田成幸	会議の結果
報告	一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告
	国民健康保険特別会計繰越明許費繰越計算書の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告
	損害賠償額の決定及び和解に係る専決	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告
承認	国民健康保険税条例の一部改正の専決	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	承認
	町税条例の一部改正の専決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
契約締結	指定ごみ袋購入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例一部改正	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
	広川町町税条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算	一般会計補正予算（第1号・第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※各議案名については簡略化しています。議決結果はホームページに記載しています。

国民健康保険税条例の一部改正の専決

反対意見（江藤議員）

物価高の今、なぜ引き上げなのか。課税限度額引き上げ対象世帯は、167世帯増え、軽減世帯の減税額と相殺しても、250万3千円の増税である。議会にもかけず専決する事は許されない。

賛成意見（丸山議員）

国の地方税法施行令の一部改正に伴うものであり、全国的な制度改革である。将来にわたって、国保制度を安定した制度としてつないでいくためのものである。

個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

反対意見（江藤議員）

住民の健康や暮らしに対する行政の責任が、通信事業者に大きく委ねられ、個人情報の漏洩や大企業の個人情報の利活用にもつながる。システムの「運用経費」も大きな負担をもたらすことが懸念される。

賛成意見（栗原議員）

地方公共団体情報システムの標準化に伴う新たな事務を整備するものである。他の事務処理との連携が必要となるため改正が必要である。

公立八女総合病院 大変厳しい経営状況!!

2025年1月、広川・八女東部・西部の3会場で地域懇談会が開催された。
 地域医療と公立病院の役割について説明。久留米大学や医師会、構成自治体と連携を図ってきた取組みを報告。医師派遣の遅延により赤字が続く見込みである。一方、民間病院の経営難が加速していることから、公立病院の意義と整備の必要性が強調された。

経営状況が厳しい要因は？

- ・ 経常損益ベースで赤字が続いており、2023年度は直近5年間で最大のマイナス11億2千万円。
- ・ 久留米大学からの公立2病院（筑後市立病院・公立八女総合病院）への医師派遣は困難。特に、2病院で重複する診療科への分散派遣は難しい。
- ・ 消化器内科医の不在が収益改善を妨げている。
- ・ 物価高騰、賃金の上昇により経費増加。
- ・ 診療報酬は固定価格である、価格転嫁できない。



全員協議会で説明を受けました

経営強化プランは？

- ・ 救急体制強化や地域連携、診療報酬の適切な取得などの取組み。
- ・ 最新医療機器を導入。
- ・ 近隣の医療機関から紹介しやすい病院になるため、あらたな紹介システム構築。

地域医療懇談会のご案内

8月19日(火)

町民交流センター「いこっと」大研修室

八女地区消防組合 八女消防本部新築!!

2025年2月19日、八女地区消防組合議会が開催された。7年度一般会計予算と主要事業の説明があり、いずれも、承認された。

令和7年度一般会計予算

26億3570万5千円

◎主要事業

- 新庁舎建設事業
 - ・ 基本設計・実施設計委託料 1億7363万3千円
 - ・ 埋蔵文化財発掘調査委託料 850万円
- 八女東消防署女性専用施設改修事業 1667万2千円
 - （仮眠室・浴室の個室化 トイレの改修等 女性消防吏員活躍推進のための改修）
- 筑後地域消防指令センター指令システム等更新事業 7億8877万7千円
 - （久留米市にある指令センターは筑後地域の7消防本部で共同運用されている。）
- 消防本部指揮車の更新 2142万3千円



新消防本部イメージ図

※一部事務組合とは

複数の地方公共団体が行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する行政機関です。

- ・ 八女西部広域事務組合 (広川 八女)
- ・ 八女中部衛生施設事務組合 (広川 八女)
- ・ 公立八女総合病院企業団 (広川 八女)
- ・ 八女地区消防組合 (広川 八女)

一般質問

No.	質問者	質問事項
1	竹下 英治	1. 広川町の人材育成
		2. 監視カメラの運用
		3. 職員の定員増
		4. ネイティブテキスタイル産地プロジェクト
		5. 農業
2	下田めぐみ	1. クーリングシェルター
		2. 教育支援センター
3	梶原 一美	1. 教育支援センターの具体像
		2. 水泳授業の民間委託に係る報告書の進捗
		3. 上広川小学校の移転計画の進捗状況
4	池尻 浩一	1. 民生委員・児童委員の実動、町の支援のあり方
		2. 公民館の今後の整備・活用
5	辻 満晴	1. 令和6年ふるさと納税の取り組み
		2. 農地の有効的利用に対する取り組み
6	江藤 美代子	1. 教育支援センターの構想と学校現場の現状
		2. 同和対策事業
7	藤島 玄稔	1. 都市計画区域
		2. 働く場の創設
		3. 教育・文化環境の充実
		4. 道徳教育
		5. 人材確保と人材育成

一般質問は、議員が一般事務に対し、その執行状況や将来の方針、政策、提言や行政課題等を執行者に直接質すものです。

YouTube で録画配信をしています。ぜひ、ご視聴ください。



人材育成基本方針 策定の趣旨は

答
あるべき職員像を
自ら求めるため

竹下 昨年度末の「広川町人材育成基本方針」策定の背景や目的は何か。

町長 住民ニーズの多様化が更に進み職員の負担感が増している中

にあっても、職員一人一人が成長し広川町に貢献することで、職員自身も働いていて良かったと感じることのできるウェルビーイング※な職場作りを目指していきたい。

竹下 平成25年に作成された「広川町人材育成基本方針」にも目指すべき職員像について、例えば「町民目線」「地域への愛着」「コス

ト意識」等の立派な内容が定められている。この内容は現状でも通用すると思うが、今次策定された基本方針は何が異なるのか。

町長 平成25年の基本方針については、その中身について職員に周知しながらも、それを意識しながら仕事をしてきたという実態があった。今回、新たな人材育成基本方針を策定したのは、職員自らが目指すべき職員像を改めて考え直そうとしたものである。

教育長 町を良くする志を持ち、人と人の繋がりを大切にする職員



竹下 英治 議員

育成のため、町長部署と一体となって取り組んでいく。



※ウェルビーイング
身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを指す概念

クーリングシエルター について

答 公共施設を早急に指定して、
周知を進めていく

下田 近年、地球温暖化の影響もあり、昔と暑さが変わってきた。特に高齢者や子どもを中心に、暑さへの対策は急務と考える。環境省の熱中症予防情報でも、クーリングシエルターの設置が推奨されている。安心して避難できる場所を確保することは、今後重要な課題である。健康被害のリスクを無くするため、猛暑対策・クーリングシエルターの設置状況について伺う。

タン広報誌や民生委員の協力も得ながら、高齢者宅を訪問し注意喚起を行っている。クーリングシエルターの具体的な指定は行っていない。

下田 誰もが安心できるためにも、猛暑期間だけでも役場や町の施設、公民館等を開放することはできないか。

町長 クーリングシエルターとして、役場・町民交流センター公共施設を指定して利用できるように早急に進めていく。公共施設以外でも、要件を満たす民間施設に協力を呼びかけていきたい。



▶環境省
クーリングシエルターマーク

新しく設置する教育支援センターは どういうものか

答 不登校児童生徒の社会的
自立を促す施設である

梶原 不登校児童生徒へのこれまでの対応は不十分だったのか。

教育長 学校に全く来ることができない児童生徒への対応は課題だった。

梶原 設置目的は何か。

教育長 登校できない児童生徒に学校復帰及び社会的自立の基礎を養うための支援を行うことである。

梶原 なぜ、はなやぎの里の2階に作るのか。

教育長 学校復帰を目指すため、学習に加え軽スポーツや野外活動、手作り工作や調理



はなやぎの里

その他 上広川小学校の移転計画の進捗について尋ねた。現在、検討委員会立ち上げに向けて、今後の児童数の推移など基礎資料の収集を行っている」と回答を得た。

実習などを考えており、こうした活動が得意やすい。

梶原 教育支援センターは不登校児童生徒への支援の中核となることへの期待にどう答えるのか。

教育長 学校の不登校対策委員会や関係機関、関係団体とも連携



し、保護者とも情報共有しながら進めたい。内容、人員体制の詳細については検討中である。

民生委員・児童委員の 実働と町の支援は

答 欠かせない存在、
しっかりと支援していく

池尻 コミュニティー活動の衰退や隣近所の交流不足、就業率の上昇等による成り手不足の対策は。

町長 現状欠員とは言いえないが、定員不足とはなっている。改選に向け、早めの通知をお願いしている。住民周知として民生委員の役割等を分かりやすく解説した広報チラシで啓発し、活動しやすい環境づくりに努めている。

池尻 実働状況の把握は出来ているか。
町長 ワークシヨップを行い、中身を検証している。県からも調査

表が届き、調査を行っている。

池尻 活動費の問題については。

町長 実状も踏まえて、活動費は県南において一番多く支出している。

その他

公民館の整備、活用について質問。

多くの要望を真摯に受け止めながら検討していきたい。こどもまん中プロジェクトにおいて、集まれ公民館事業を実施していくと答弁があった。



池尻 浩一 議員



▶利活用が期待される
公民館（藤田区）

ふるさと納税の 今後の取り組みは

答 魅力的な商品の掘り起こし
を進め、寄付増額を目指す

辻 新しい事業者で取り組んだ6年度の実績は。

町長 ふるさと納税額2億3千万円、前年比154%と大きく増加した。

辻 返礼品の広川町産品の割合は。

町長 寄付額で78%となっており、今後も広川産品のPRを含め、町を応援してもらえよう取り組んでいく。

辻 広川サービ

スエリアで取り組んでいる店舗型ふるさと納税の取り組みは。

町長 その場で



辻 満晴 議員

クーポンを発券し、お土産や食事ができるサービスで、まだ利用が少ない。SA利用が多い時期にPR等を強化し利用拡大を図っていく。

辻 大きく制度が変わるふるさと納税について今後の取り組みは。

町長 広川町応援の受け皿として、ルールを



店舗型ふるさと納税を利用している様子

その他

農地の有効利用について質問した。

中間管理機構への移行の状況や、目標地図を入れた地域計画の農家への周知についてJA等と協力し進めていきたいとの答弁であった。

「同和」特別対策事業の縮小・完了を

答 残された課題解決に向けて、
丁寧に取り組んでいく

江藤 運動団体への助

成金・負担金の具体的
効果はあるか。

町長 昭和47年から50
年間支出している。人
権を尊重する地域づく

りにつながっていく。

江藤 教育集会所設置
条例では「地域住民の
教育水準の向上、福祉

の増進」を設置目的と
している。地域の実態
をどうとらえている

か。

町長 地域間格差を明
確にはかることは困難
である。

江藤 人権が大切にさ
れる社会実現のため、
タブーを作らず、自由

な議論が必要と考える

がどうか。

町長 まずは、正しい
知識を身につけ、新た
な差別を生まないよう

にする事が大切であ
る。

江藤 「正しい知識」
は自由な議論の中で得
られるものである。「同

和」問題が解決した状
況とは、「差別事象が

全くなくなること」で
はなく、差別的言動が

あっても、それらを許
さない社会合意が強く

存在することである。

町は主体性を持って、
「同和」特別対策事業

は縮小・完了すべきと
考えるがどうか。



江藤美代子 議員

町長 残された課題に
向けて、丁寧に取り組
んでいく。



都市計画区域の現状と見直しについて

答 現在のところ
見直す予定ない

藤島 都市計画区域の
現状と今後の見直しを
尋ねる。

町長 広川町では昭和
50年9月1日に町全域
が都市計画区域として

指定された。また、本
町の都市計画では、市
街化区域、市街化調整

区域といった区域区分
を定めていない。また、
用途地域の指定もな

い。現在のところ、都
市計画区域を見直す予
定はない。区域区分を

定める予定もない。

藤島 全町を非線引き
都市計画とすることで
はなく、場合によって

地域を選んで都市計画
区域を策定することは

できないのか。

町長 広川町は全域都
市計画区域で、県から
非線引き区域に指定さ
れている。区域区分を

指定した場合、県の許
可を受けないと開発が
できない。開発等の観

点からすると今の状態
が最良と考える。

その他

義務教育での道徳教
育の取り組みについて
質問した。教育長は、各

学校において学習指導
要領に基づき、児童生
徒が自立した人間とし

て、他者とともにより
良く生きるための基盤
となる道徳性を養つよ

う、道徳教育を推進し
ていると回答を得た。



藤島 玄稔 議員



道徳の教科書から

子どもたちの声をきいてみました

「こどもまんなかアクションプラン」では、「子どもの居場所を作る」を主要施策の一つにあげています。町内の公園や公共施設を活用し、子どもたちが自由に過ごせる場所を整備し、子どもが安心して集える空間を充実させるとしています。

待ち合わせの場所として利用しています。



トイレがきれいである。

Wi-Fiが使える。

自販機もあり、助かります。

利用者が多くて、狭く感じるときがある。



図書館もとなりにあり、利用しています。

机がもっと広いほうがいい。

騒がしくてうるさいと感じるときがある。

ボール遊びができる場所が欲しい。



夏場は、室温を少し下げたい。

小学校の運動場を使わせて欲しい。

机やイスの数がもっと欲しい。

小学生は静かにして欲しいときがある。

快適で使いやすいです。

おにぎりの自販機があるといいな。

サッカーゴールが設置されたのはサイコー

アスレチックが欲しい



議会広報調査特別委員会

委員長	江藤美代子
副委員長	梶原一美
委員	池尻浩一
委員	藤島玄稔
委員	辻満晴
委員	下田めぐみ

次回の定例会予定

9月4日(木)～19日(金)

一般質問 9月4日(木)・5日(金)

議会傍聴に、おいでください。

※変更となることがあります。

☎ 0943-32-0109 (議会事務局)